

放っておくとこわい “溶連菌感染症”

★溶連菌感染症とは溶連菌という細菌がのどについておこるかぜによく似たうつる病気です。

★主な症状はのどの痛みと発熱です。
舌はイチゴのようになります。
体や顔、手足に発疹が出る
ことがあります。



★診断はのどの細菌検査でできます。

★治療は抗生剤をきちんと10日間飲まなければなりません。

症状はすぐ取れますが薬を途中でやめると再発します。

★きちんと治療しないと2～3週間後に急性腎炎やリウマチ熱などの合併症をおこすことがあります。

★兄弟にうつりやすいので症状が出てきたら早めに受診しましょう。